

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	選挙事務管理事業			会計	款	項目	大	小
				01	02	04	01	02
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）			主管課	選挙管理委員会事務局		
施策	6-2	健全で効率的な行政運営			主管課長	鈴木 忠		

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	A 選挙管理委員会委員 B 有権者	意図	選挙管理委員会の運営及び各種選挙の適正な管理執行
事業内容	選挙管理委員会定例会及び臨時会を開催し、法令等による選挙に関する事務を決定する。市長及び市議会議員選挙のほか、法令によって、その権限とされているその他の選挙に関する事務等を管理する。選挙事務の適正な管理執行に資するため、各種研修会や事務研究会等へ参加する。			
事業開始から現在までの状況変化	選挙管理委員会は、地方自治法第181条の規定に基づき設置されている。平成26年度では、39年ぶりに農業委員会委員一般選挙の投票が行われた。また12月には衆議院議員総選挙に関する事務を行った。更に、平成27年1月には、41投票区を44投票区に増設した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	選挙管理委員会開催回数	13	8	12	
②	適正な選挙の執行	2	1	2	回	↑↑↑	
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・委員会開催回数は、選挙の実施数によるため、26年度は昨年度よりも多くなった。 ・26年度は、任期満了による農業委員会委員一般選挙が39年ぶりに投票となった。 ・平成26年12月には急遽衆議院議員総選挙が行われた。 ・平成27年4月執行の統一地方選挙（県議・市長及び市議）の準備が始まった。 ・選挙事務管理事業の事業費はほとんど変わらない。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		21,428,013	23,107,060	22,840,177			
事業費(b)(円)		2,047,413	2,146,060	2,112,379			
うち一般財源		2,005,965	2,096,434	2,065,429			
職員給与費(c)(円)		19,380,600	20,961,000	20,727,798			
人役・職員(人)		2.70	3.00	3.00			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	つくばエクスプレス沿線区域の有権者数増加のため、投票区の設定を検討する。	③取り組みの課題	有権者数の推移を見据え、引き続き投票区の見直しの検討が必要である。
②今年度(H26)に実施した取り組み	平成27年1月に、投票区の設定及び組み替えを実施し、41投票区から44投票区に増設し、有権者の利便性を図った。おたかの森出張所に期日前投票所を設置する準備を進めた。	④今後の改善計画	統一地方選挙での投票所分設及び期日前投票所新設の結果を検証し、有権者の利便性向上策を検討する。